



2024年11月7日

各位

会社名 神鋼鋼線工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 北山修二
(コード番号 5660 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員 吉田裕彦
(TEL. 06-6411-1051)

2025年3月期中間連結会計期間の業績予想値と実績値との差異および
通期連結業績予想、配当に関するお知らせ

2024年8月6日公表の2025年3月期中間連結会計期間の業績予想値と本日公表の実績値における差異の発生および2025年3月期通期連結業績予想、2025年3月期配当につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期中間連結会計期間の業績予想値(2024年4月1日～2024年9月30日)と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,000	200	200	150	25.38
今回発表実績 (B)	16,942	642	686	512	86.79
増減額 (B-A)	△ 58	442	486	362	
増減率 (%)	△ 0.3%	221.0%	243.0%	241.3%	
(ご参考) 前年中間連結会計期間実績 (2024年3月期)	15,892	528	572	451	76.41

2. 2025年3月期通期連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,800	950	950	670	113.36
今回発表予想 (B)	34,800	950	950	670	113.36
増減額 (B-A)	△ 1,000	-	-	-	
増減率 (%)	△ 2.8%	-	-	-	
(ご参考)前年実績 (2024年3月期)	32,726	1,023	1,066	906	153.32

3. 業績予想と実績値との差異の理由および通期連結業績予想について

中間連結会計期間において、売上高は微減となったものの、原材料・人件費を始めとした諸コストの上昇に対する販売価格の改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めたことにより、中間連結会計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は予想値を上回りました。

一方で、通期連結業績予想に関しましては、特殊鋼線関連事業セグメントの自動車分野において、中間連結会計期間以降も低水準な需要の継続を見込むこと、また、鋼索関連事業セグメントにおいて、販売価格改定実施により、一時的に発生した駆け込み需要の反動影響等を見込むことから、通期連結業績予想は上記の通り修正いたします。

4. 2025年3月期配当

基準日	年間配当金		
	中間 (2024年9月30日)	期末 (2025年3月31日)	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想(2024年8月6日)	10.00	30.00	40.00
今回予想	-	10.00	40.00
当期実績	30.00		
(ご参考)前年同期実績 (2024年3月期)	25.00	25.00	50.00

5. 配当(中間・期末)について

配当については、経営基盤の強化や将来の事業展開を勘案し、内部留保の充実を図りながら、連結配当性向30~40%(年間)程度の継続的な利益還元を目指すことを基本方針としております。

本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり30円とすることを本日開催の取締役会において決定いたしました。なお、通期連結業績予想の修正に伴い、期末配当予想は1株当たり10円に修正し、年間配当予想は1株当たり40円といたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上